

バルザー(常総学院高)マイナー契約

パドレス

常総学院高の最速154キロ右腕、バルザー・ジョセフ・ブライアン(3年)が米大リーグ・パドレスとマイナー契約を結んだ。13日、土浦市の同校で記者会見に臨み、「気持ちと自信はある。メジャー昇格をいつかは『通過点』と言えるような大投手になりたい」と目標を語った。14日に渡米する。

2年秋に内野手から投手に転向。肘の故障のため、公式戦登板は一昨年前の秋季県大会2回戦の水戸葵陵戦で救援したイニングだけだが、恵まれた体から繰り出される直球がプロから注目されていた。

会見に同席したパドレスの日本担当スカウト、上園啓史氏(38)はこれまで視察を重ねたことを明かし、評価のポイントを「150キロを超える直球を持っていること」と説明した。併せて「投球フォームなどまだまだ発展途上の選手。スピードもさらに伸びると思う」と今後の成長に期待した。幼い頃から大リーグのマウンドを夢見てきたという。小学3年夏に大賀ドリムス(常陸大宮市)で野球を始め、そこからは内野手

「気持ちと自信はある」

として活躍。投手をやりたい思いはずっとあったが、故障を心配した指導者が無理をさせてくれなかった。会見では何度もパドレスのエース、ダルビッシュ有(36)の名を挙げ、「対戦する打者を研究するなど、年を重ねることにすごい選手になっていく」と尊敬の言葉を並べ、「いつかは一緒にプレーしたい」と目を輝かせた。

昨年11月3日に右肘の靭

帯再建手術を受け、現在はリハビリ中。今後は6月をめぐりにキャッチボールを再開させる予定で、「焦らずにリハビリをして、5〜6年を見据えてメジャーに行きたい」と慎重な姿勢を示した。

バルザー・ジョセフ・ブライアン、2004年10月27日生まれ。神奈川県出身。188センチ、89キロ。右投げ左打ち。山方中(日立ボーイズ)出身。父は米国出身。5歳から9歳まで米ニュージャージー州で育つ。最速154キロの直球のほか、カーブ、スプリットを操る。



パドレスとマイナー契約を結んだバルザー。右はパドレスの上園日本担当スカウト＝土浦市の常総学院高